

新発田  
援護室

## TOPIC

再就職に向けて意識改革！  
令和5年度定年2年前教育/任期制隊員退職前教育

2月21日（水）に行った「令和5年度定年2年前教育及び任期制隊員退職前教育」を紹介します。



この教育は、今後2年以内に若年定年退職を迎える隊員に対して、再就職に必要な知識を持たせ、それに伴う意識改革の重要性と再就職準備の参考にすることを目的に実施しました。

当初、若年定年退職予定（50代）の10名に対し、「再就職の心構え」「意識改革」「自衛隊援護組織の活用」等の教育を行いました。

【（福）真心福祉会  
富沢 智也 部長、自衛隊OB 山崎 智行 氏】

【セコムジャスティック上信越(株)  
川上 穰 新発田支店長】



引き続き、（福）真心福祉会 介護事業部長 富沢 智也 氏、新発田駐屯地OB 山崎 智行 氏とセコムジャスティック上信越(株) 本社業務部長 堤 啓 氏、新発田営業所長 川上 穰 氏を講師にお招きし講話をいただきました。両講師は、特に「再就職先を決める際の留意事項」「企業が自衛官に求めるイメージ」「再就職後の心構え」を強調されていました。

午後からは、3月に任期満了退職を予定している隊員（自衛隊新卒）の6名も含め、新潟県労働委員会 公益委員 田中 恒彦氏から、「一般社会の労働法規」についてクイズ形式で隊員にも理解しやすく教育を行っていただきました。

【新潟県労働委員会による教育の様子】

【ハローワーク新発田による教育の様子】



【業務隊厚生科による教育の様子】

その後、ハローワーク新発田 窪田 勝之氏から「新潟県内の雇用情勢」「中高年の再就職状況について」、最後に駐屯地業務隊 厚生科 伊藤事務官から「年金制度」についての説明を受けました。教育後のアンケートには、定年退職予定隊員から、「民間企業が働き手に何を求めているかがよく理解できた。」等と再就職に向けて準備開始の契機となった感想があり、任期満了退職予定隊員からは、「4月から民間社会で働くにあたって、労働法規等必要な知識がよく理解できた」等の感想がありました。



講師の皆様、お忙しい中、隊員のために教育・講話等をありがとうございました。参加隊員は、「再就職への現実」、「企業様の生の声」、「社会人として働く上で知るべき知識」等のお話を受け、再就職に向けた良い動機付けとなった様子です。

新発田援護室一同

